

科目	単位	時間	履修学年	講師名
看護解剖生理学	1	15	1	
ねらい	解剖生理学に興味・関心を持てるよう、看護に関連した主要な解剖生理学の理解を深める。			
回数	授業内容			
1回目	1. 息をする～呼吸の仕組み 呼吸器の解剖生理			講義・演習
2回目	2. 生きる～生命維持の原動力 循環器の解剖生理			講義
3回目	3. 食べる～食行動と消化・吸収 消化器の解剖生理 出す～排泄行動 腎・泌尿器・代謝系の解剖生理			講義・演習
4回目	4. 動く～運動の仕組み 運動器の解剖生理 5. お風呂に入る～清潔行動 眠る～身体のリズム			講義・演習 講義
5回目	6. 見る・話す-聞く・におう・味わう・痛む～感覚の仕組み 産み育てる～種族の維持 生殖器の解剖生理			講義
6回目	7. 何のための生活行動か～恒常性維持のための流通と調節機構			講義
7回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体液の分類と量</li> <li>・体液の電解質</li> <li>・血漿のPH</li> <li>・動脈血の酸素分圧</li> <li>・血漿の糖分</li> <li>・体温</li> </ul>			
7.5回目 (45分)	終講試験			
教科書	看護につながる解剖生理 小寺豊彦 照林社 (参考図書：看護形態機能学 菱沼典子 日本看護協会出版会)			
評価方法	筆記試験 ( 1時間 [45分間] : 100点 )			